

# なちかいつら

## 2015

新病院建設  
特集号  
Vol.1

新病院 平成 30 年 3 月開院に向け  
**本格始動 !!**

※ この画像は技術提案書に描かれた完成予想図です。  
実際とは異なる場合があります。



# 特集 | 新病院ってどんな病院？ どうして必要？

平成22年に動き出した新病院建設事業。5年の歳月を経て、事業は本格スタートを切りました。

このページでは、新病院建設の必要性や地域医療における役割などについて、お知らせします。

## はじめに

那智勝浦町立温泉病院は、昭和39年の開院から51年が経過しました。経年による施設の老朽化は著しく、特に電気・空調などの設備は、補修の繰り返しで何とか維持している状況です。加えて、施設が狭いため、患者のプライバシーへの配慮など、多様化する医療需要や医療サービスへの対応が難しくなっています。

また、東海・東南海・南海3連動地震や南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるなか、現病院は津波の浸水想定区域に位置し、建物の耐震性も十分とは言い難い状況にあります。このことから、災害時や非常時の傷病者の受け入れや対応が困難となることが想定

されるため、機能性・安全性・防災性の高い病院の建設が急務となっています。

## 地域医療で新病院が担う役割は？

町立病院の使命である地域に密着した医療を推進し、内科や整形外科はもとより、従来から取り組む「リハビリテーション医療」の提供体制を強化します。この拠点性を高める

ことが、県の「地域医療再生計画」にもうたわれており、新宮・東牟婁の地域医療における当病院最大の使命となります。患者のみならず、その家族の生活の質をも改善する医療は、高齢化が進行するなか、その需要と必要性は今後ますます高まることが見込まれます。

## 新病院の診療科目は？

新病院の診療科目は、内科・整形外科・リハビリテーション科・眼科の4科となります。これは、建設コストの大幅な削減を契機として、常勤医の確保を念頭に、診療科における連携及び採算性、患者数の将来変動の見通しなどを考慮し、見直しを行ったことによりります。

その他の診療科の機能については、新宮・東牟婁地域にお

ける当病院の役割と機能分化の観点から、地域の基幹病院である新宮市立医療センターを中心とした医療機関に担っていたこととなります。

また、病床機能においても、急性期を担う新宮市立医療センター等との連携をさらに強化していきます。高齢化に伴い、回復期機能への需要は今後ますます高まります。当病院は、回復期と慢性期の医療を担い、地域完結型の医療をめざします。



装具と歩行器を用いたリハビリ



上肢機能の改善に向けた作業療法

脳血管障害は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に代表される脳の病気の総称です。病後に麻痺や言語障害などが残ることが多く、日常生活を取り戻すには『リハビリテーションがカギ』となります。そこで、リハビリテーション医療について、田島先生にお話をうかがいました。

## ■ リハビリテーション医療はコンビニ

普通、診療科は臓器別になっています。いわば専門店で、守備範囲が決まっています。コンビニはそうではなく、お客様の都合に合わせて品揃えをします。同様にリハビリは、患者様の都合を優先した「患者第一主義」。全身を診ることが要求されます。ですからリハビリは全身の医学であると言えます。

## ■ リハビリテーション医療が目指すもの

リハビリテーション医療の目標は「QOLの向上」です。QOLとは「生活、人生あるいは生命の質」のことをいいます。たとえば、脳卒中後の麻痺が

原因で歩けなくなり、失業したなど、病气やけがで生じた障害（生活上の不自由や不利益）によってQOLは大きく損なわれます。いろいろな手段を使って少しでも高いレベルのQOLを実現し、充実した満足感のある生活を再獲得するための過程がリハビリです。町立温泉病院が、新宮・東牟婁地域のリハビリテーション医療の拠点として、患者様のみならず、ご家族様のQOL再獲得にも寄与することを期待しています。

## ■ 歩いて退院するリハビリを

人間はじつとして弱ります。どんなに屈強な若者でも、じつとして弱っています。このことは40



年以上前に航空宇宙医学で証明されています。

1970年に打ち上げられたソユーズ9号。二人の宇宙飛行士が、当時の世界記録である18日間に及ぶ宇宙滞在を成し遂げました。しかし、地球に帰還した二人を見て、科学者たちは愕然とします。18日間の無重力状態が筋力を衰えさせ、自力で立ち上がれないほど弱っていたのです。衝撃を受けたNASA（米航空宇宙局）はある実験をします。健康な志願者を募り、ベッドで安静にする生活をしてもらったところ、筋力が30%も落ちました。

選り抜かれたアスリートである宇宙飛行士が18日間で立てなくなるのですから、普通のお年寄りが、2週間も寝付くと歩けなくなるのは当然なのです。辛くても早くリハビリを始め、運動機能と心肺機能を強化することが決定的に重要です。

私は、安静は麻薬だと思っています。安静にしていると

も浸っていたくなりますが、確実に心身ともに蝕まれていきます。まさに麻薬です。

対して、運動は万能薬です。ですから、患者さんには診断の上、たとえ痛くても無理をしてもらいます。逆に言うとは効果は出ません。

かつて病院から退院するときには車椅子で帰りました。これからは、退院のときは「歩いて帰る」を普通にしたいと考えます。

## ■ よくある相談 ~ 運動と農作業 ~

患者さんで農業をされている方から、「もう辞めようと思うのだけど」というご相談がよくあります。私は、「どうせだったら、死ぬまで農業しませんか」とお話しします。農作業も運動と考えると、動的運動と静的運動が混ざった良い運動です。ぜひ生産的な農作業は続けてください。

# 新病院建設事業の概要

## 設計と施工を一括発注

本町では初となる「公募型プロポーザル方式」により、設計と施工を一括で請け負う事業者を選定しました。

- 契約先 株式会社鴻池組 大阪本店
- 契約金額 32億4000万円（消費税相当額含む）
- 構造規模 鉄骨造4階（一部5階）建
- 病床数 120床

### 「プロポーザル方式」とは

目的物（今回でいう病院の設計と施工）に対する企画を提案してもらい、その中から最も優れた提案者を選定する方法です。

通常の競争入札と違い、価格に加えデザインや利便性など、様々な視点での審査が行われます。

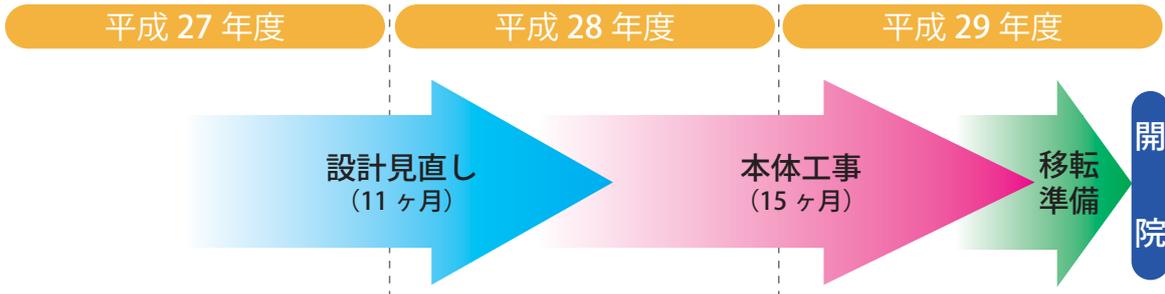


事業契約を受け、10月30日に記者発表を行いました。（イメージ図を示す寺本町長（左）と山本院長）

◎ 山本院長のコメント

「地域住民の皆様方の心に寄り添うような、安心・安全で信頼される病院を目指します。」

## 今後のスケジュール



平成 28 年 8 月までに設計の見直しを完了し、同年 9 月から 15 ヶ月の工期で本体工事を行う予定です。その後、新病院への引っ越し・開院準備を行い、平成 30 年 3 月に開院する見込みとなっています。

なお、施工にあたっては、仮囲いによる騒音・粉じん対策や交通安全対策に十分配慮してまいります。

## 建設場所

- 位置 大字天満 1185 番地 4
- 敷地面積 約 18,700 平方メートル
- アクセス  
電 車…紀伊勝浦駅から徒歩 7 分  
町営バス…国道役場横バス停から徒歩 5 分  
(開院に合わせて新病院にバス停設置予定)
- 津波に対する心配は？  
造成が完了した建設地は、考えられる最悪の規模である「南海トラフ巨大地震（マグニチュード 9.1）」でも浸水しない想定です。



消防本部から撮影した建設地